

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	約9年9カ月間（2015年8月27日～2025年6月9日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンドの受益証券
	ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド	世界の事業会社が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券）
ベビーファンドの運用方法	<p>①主として、マザーファンドの受益証券を通じて、世界の事業会社が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券）等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。</p> <p>②マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>③保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。</p> <p>※保有実質外貨建資産とは、当ファンドが保有する外貨建資産およびマザーファンドが保有する外貨建資産のうち当ファンドに属するとみなした外貨建資産をいいます。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①ハイブリッド証券等の運用にあたっては、以下の点に留意します。</p> <p>イ、投資対象とする銘柄は、取得時において投資適格（ムーディーズでBaa3以上またはS&PもしくはフィッチでBBB-以上）の格付けを有するものとします。</p> <p>ロ、各業種のクレジット・アナリストによる個別発行体の財務分析および信用リスク分析等により、投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ハ、投資対象銘柄の中から、繰上償還の実現性、利払いの確実性、格付見直し等のファンダメンタルズ分析を行ない、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ニ、組入候補銘柄の中から、同業他社比較や相対的な割安度合い等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>②外貨建資産の運用にあたっては、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>③ハイブリッド証券の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	ベビーファンドの株式組入上限比率	
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することとを基本とします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド （為替ヘッジあり）

運用報告書（全体版）

第6期（決算日 2017年3月9日）

第7期（決算日 2017年6月9日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）」は、このたび、第7期の決算を行ないました。

ここに、第6期、第7期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5670>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 分	込 配 金	期 騰 落 中 率		
	円	円		%	%	百万円
1 期末 (2015年12月 9 日)	9,696	60	△	2.4	90.7	4,857
2 期末 (2016年 3 月 9 日)	9,418	60	△	2.2	91.7	4,818
3 期末 (2016年 6 月 9 日)	9,917	60		5.9	91.1	4,772
4 期末 (2016年 9 月 9 日)	10,234	60		3.8	98.4	4,361
5 期末 (2016年12月 9 日)	9,945	50	△	2.3	89.5	5,231
6 期末 (2017年 3 月 9 日)	10,146	60		2.6	92.1	6,350
7 期末 (2017年 6 月 9 日)	10,338	45		2.3	93.8	6,270

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 3) 公社債組入比率はハイブリッド証券（劣後債、優先証券）を含みます。

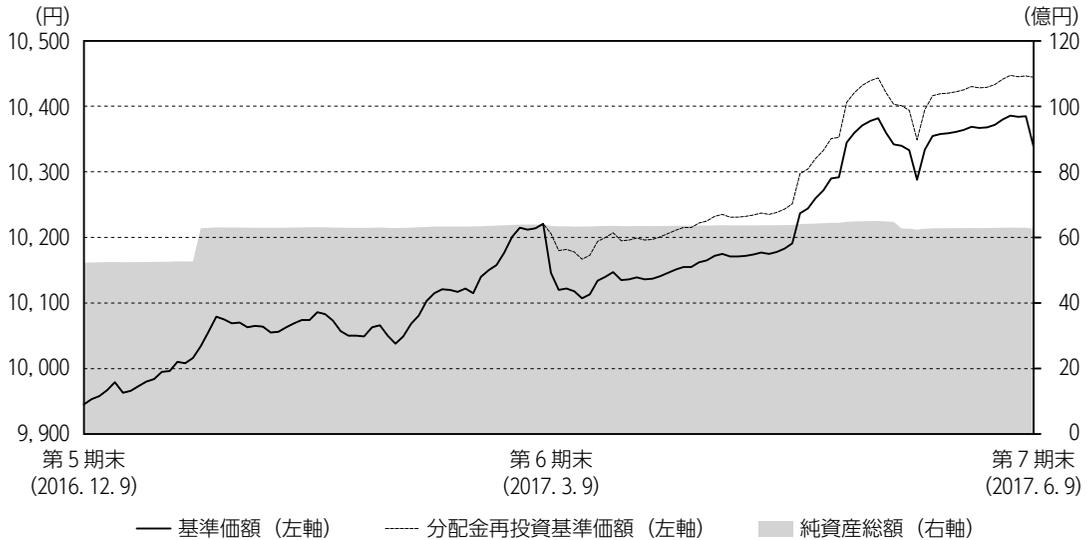
(注 4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第6期首：9,945円

第7期末：10,338円（既払分配金105円）

騰落率：5.0%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の変動要因

当作成期間の基準価額は上昇しました。欧米における政治リスクが意識される場面もありましたが、欧州のマクロ経済環境の改善傾向や欧州企業の業績回復傾向といったコーポレート・ハイブリッド証券市場を取り巻く投資環境が引き続き良好な状態が継続したことなどから、コーポレート・ハイブリッド証券市場が堅調に推移したことが寄与しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比
		円	騰 落 率 %	
第 6 期	(期 首) 2016年12月 9 日	9,945	—	89.5
	12月末	10,016	0.7	91.2
	2017年 1 月末	10,057	1.1	90.3
	2 月末	10,158	2.1	90.5
	(期 末) 2017年 3 月 9 日	10,206	2.6	92.1
第 7 期	(期 首) 2017年 3 月 9 日	10,146	—	92.1
	3 月末	10,146	0.0	90.1
	4 月末	10,272	1.2	95.3
	5 月末	10,367	2.2	94.2
	(期 末) 2017年 6 月 9 日	10,383	2.3	93.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2016. 12. 10 ～ 2017. 6. 9）

■コーポレート・ハイブリッド証券市況

コーポレート・ハイブリッド証券市場は価格上昇しました。

コーポレート・ハイブリッド証券市場は、当作成期間において、ドイツ3年国債利回りがおおむね横ばいで推移する中、コーポレート・ハイブリッド証券のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小傾向で推移したことで、当期間を通しておおむね堅調な推移となりました。

欧州におけるイタリアやフランスでの選挙、米国トランプ大統領の入国規制に関わる大統領令やロシアとの不透明な関係といった政治リスクが意識されたことなどが、コーポレート・ハイブリッド証券のスプレッドの一時的な拡大要因となりました。しかし当期間を通して、改善傾向にある欧州のマクロ経済環境や欧州企業の業績といったコーポレート・ハイブリッド証券を取り巻く投資環境は良好な状態が継続したことに加え、イタリアとフランスの選挙を無難に通過したことで、コーポレート・ハイブリッド証券のスプレッドはおおむね縮小傾向で推移しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」**■当ファンド**

「ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド」の受益証券組入比率は高位を維持し、為替変動リスク低減のために為替ヘッジを行ないます。

■ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド

世界の事業会社が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。外貨建資産の運用にあたっては、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッド（以下、パイオニア社）に運用の指図にかかる権限を委託します。

ポートフォリオについて

（2016. 12. 10 ～ 2017. 6. 9）

当ファンド

「ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド」の受益証券組入比率は、当作成期間を通じておおむね100%程度を維持し、為替変動リスク低減のために為替ヘッジを行ないました。

ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド

主として、世界の事業会社が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。外貨建資産の運用にあたっては、パイオニア社に運用の指図にかかる権限を委託しております。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第6期は60円、第7期は45円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		第6期	第7期
		2016年12月10日 ～2017年3月9日	2017年3月10日 ～2017年6月9日
当期分配金（税込み）	（円）	60	45
対基準価額比率	（％）	0.59	0.43
当期の収益	（円）	60	45
当期の収益以外	（円）	—	—
翌期繰越分配対象額	（円）	335	481

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第6期	第7期
(a) 経費控除後の配当等収益	85.72円	95.90円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	95.18
(c) 収益調整金	117.33	117.45
(d) 分配準備積立金	192.65	218.26
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	395.70	526.80
(f) 分配金	60.00	45.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	335.70	481.80

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド」の受益証券組入比率を高位に維持し、為替変動リスク低減のため、為替ヘッジを行いません。

■ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド

引き続き、世界の事業会社が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。外貨建資産の運用にあたっては、パイオニア社に運用の指図にかかる権限を委託します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第6期～第7期 (2016.12.10～2017.6.9)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	46円	0.452%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,158円です。
（投信会社）	(34)	(0.339)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(10)	(0.094)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0.019)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.012	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	47	0.464	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年12月10日から2017年6月9日まで)

決算期	第6期～第7期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド	1,350,873	1,270,000	900,050	880,000

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第6期～第7期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第5期末	第7期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド	5,774,447	6,225,270	6,097,030

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年6月9日現在

項目	第7期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド	6,097,030	96.6
コール・ローン等、その他	215,925	3.4
投資信託財産総額	6,312,955	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月9日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110.08円、1イギリス・ポンド＝140.15円、1スウェーデン・クローネ＝12.60円、1ユーロ＝123.09円です。

(注3) ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、第7期末における外貨建純資産（6,005,673千円）の投資信託財産総額（6,096,809千円）に対する比率は、98.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年3月9日)、(2017年6月9日)現在

項目	第6期末	第7期末
(A) 資産	12,342,132,175円	12,290,069,111円
コール・ローン等	101,648,485	98,295,792
ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド（評価額）	6,282,512,881	6,097,030,114
未収入金	5,957,970,809	6,094,743,205
(B) 負債	5,991,159,651	6,019,565,523
未払金	5,940,034,754	5,977,473,611
未払収益分配金	37,557,729	27,293,900
未払信託報酬	13,447,153	14,548,114
その他未払費用	120,015	249,898
(C) 純資産総額（A－B）	6,350,972,524	6,270,503,588
元本	6,259,621,576	6,065,311,204
次期繰越損益金	91,350,948	205,192,384
(D) 受益権総口数	6,259,621,576口	6,065,311,204口
1万口当り基準価額（C/D）	10,146円	10,338円

*第5期末における元本額は5,260,145,407円、当作成期間（第6期～第7期）中における追加設定元本額は1,002,513,058円、同解約元本額は197,347,261円です。

*第7期末の計算口数当りの純資産額は10,338円です。

■損益の状況

第6期 自2016年12月10日 至2017年3月9日
第7期 自2017年3月10日 至2017年6月9日

項目	第6期	第7期
(A) 配当等収益	△ 7,520円	△ 11,073円
受取利息	—	278
支払利息	△ 7,520	△ 11,351
(B) 有価証券売買損益	169,598,525	158,660,370
売買益	410,808,384	614,413,799
売買損	△ 241,209,859	△ 455,753,429
(C) 信託報酬等	△ 13,567,168	△ 14,678,271
(D) 当期損益金（A+B+C）	156,023,837	143,971,026
(E) 前期繰越損益金	△ 10,759,145	104,312,925
(F) 追加信託差損益金	△ 16,356,015	△ 15,797,667
（配当等相当額）	（ 73,446,098）	（ 71,237,859）
（売買損益相当額）	（△ 89,802,113）	（△ 87,035,526）
(G) 合計（D+E+F）	128,908,677	232,486,284
(H) 収益分配金	△ 37,557,729	△ 27,293,900
次期繰越損益金（G+H）	91,350,948	205,192,384
追加信託差損益金	△ 16,356,015	△ 15,797,667
（配当等相当額）	（ 73,446,098）	（ 71,237,859）
（売買損益相当額）	（△ 89,802,113）	（△ 87,035,526）
分配準備積立金	136,693,845	220,990,051
繰越損益金	△ 28,986,882	—

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は9ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：11,633,447円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第6期	第7期
(a) 経費控除後の配当等収益	53,659,052円	58,166,828円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	57,730,744
(c) 収益調整金	73,446,098	71,237,859
(d) 分配準備積立金	120,592,522	132,386,379
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	247,697,672	319,521,810
(f) 分配金	37,557,729	27,293,900
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	210,139,943	292,227,910
(h) 受益権総口数	6,259,621,576口	6,065,311,204口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金	第 6 期	第 7 期
		60円
(単 価)	(10,146円)	(10,338円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド

運用報告書 第2期 (決算日 2017年6月9日)

(計算期間 2016年6月10日～2017年6月9日)

ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンドの第2期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	世界の事業会社が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券）
運用方法	<p>①ハイブリッド証券等の運用にあたっては、以下の点に留意します。</p> <ul style="list-style-type: none">イ. 投資対象とする銘柄は、取得時において投資適格（ムーディーズでBaa3以上またはS&PもしくはフィッチでBBB-以上）の格付けを有するものとします。ロ. 各業種のクレジット・アナリストによる個別発行体の財務分析および信用リスク分析等により、投資対象銘柄を選定します。ハ. 投資対象銘柄の中から、繰上償還の実現性、利払いの確実性、格付見通し等のファンダメンタルズ分析を行ない、組入候補銘柄を選定します。 <p>二. 組入候補銘柄の中から、同業他社比較や相対的な割安度合い等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>②外貨建資産の運用にあたっては、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>③ハイブリッド証券の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	無制限

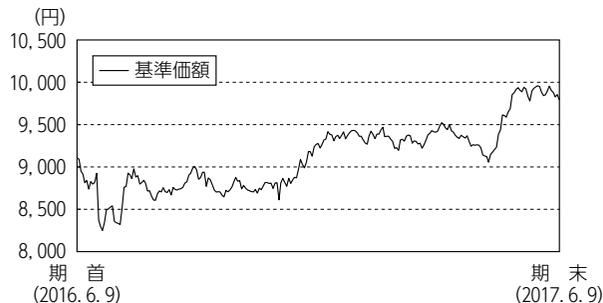
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	円	騰 落 率 %	
(期首) 2016年6月9日	9,111	—	93.1
6月末	8,494	△ 6.8	90.0
7月末	8,808	△ 3.3	96.9
8月末	8,903	△ 2.3	97.4
9月末	8,706	△ 4.4	97.3
10月末	8,816	△ 3.2	93.0
11月末	9,055	△ 0.6	92.9
12月末	9,371	2.9	92.8
2017年1月末	9,357	2.7	91.1
2月末	9,262	1.7	93.1
3月末	9,367	2.8	91.7
4月末	9,587	5.2	93.0
5月末	9,853	8.1	96.0
(期末) 2017年6月9日	9,794	7.5	96.5

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入率はハイブリッド証券(劣後債、優先証券)を含みます。
 (注3) 公社債組入率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,111円 期末：9,794円 騰落率：7.5%

【基準価額の主な変動要因】

当期の基準価額は上昇しました。期の前半は、上値の重いコーポレート・ハイブリッド証券市場やユーロ円相場を背景に、基準価額も軟調に推移しました。しかし後半は、改善傾向にある欧州のマクロ経済環境などを背景に、コーポレート・ハイブリッド証券の спреッド(国債に対する上乗せ金利)は縮小傾向となり、期末にかけてユーロ円相場も上昇したことから、基準価額も上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○コーポレート・ハイブリッド証券市況

コーポレート・ハイブリッド証券市場は価格上昇しました。コーポレート・ハイブリッド証券市場は、2016年6月後半の英国国民投票でEU(欧州連合)離脱派が多数となったことを受けて、期首より上下に振れる展開となりました。その後、混乱が落ち着くにつれて、9月初旬ごろまで底堅く推移しましたが、ECB(欧州中央銀行)の追加緩和見送りや欧州の金融機関に対する信用不安などを背景に、年末にかけて下落基調となりました。2017年に入ると、コーポレート・ハイブリッド証券の спреッドは縮小傾向となりました。期の後半は、欧州における政治への不透明感や、米国トランプ大統領の入国規制に関わる大統領令やロシアとの不透明な関係などが、コーポレート・ハイブリッド証券の спреッドの一時的な拡大要因となりましたが、イタリアとフランスの選挙を無難に通過したことや改善傾向にある欧州のマクロ経済環境などを背景に、ドイツ3年国債利回りがおおむね横ばいで推移する中、コーポレート・ハイブリッド証券の спреッドは縮小傾向が継続しました。

○為替相場

ユーロ円為替相場は上昇(円安)しました。

ユーロ円相場は、2016年6月後半の英国国民投票でEU離脱派が多数となり円が急騰したことを受けて、期首より大きく下落しました。その後も、欧州の金融機関に対する信用不安などを背景に、ユーロ円相場は上値の重い展開が続きました。11月に入ると、米国大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受け、年末にかけて円安が進行し、ユーロ円相場も上昇(円安)しました。2017年の年明け後は、欧州の政治リスクが意識され不安定な動きとなる局面もありましたが、期末にかけては、懸念の後退とともにユーロ円相場は上昇(円安)しました。

◆前期における「今後の運用方針」

世界の事業会社が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。外貨建資産の運用にあたっては、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッド(以下、パイオニア社)に運用の指図にかかる権限を委託します。

◆ポートフォリオについて

主として、世界の事業会社が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。外貨建資産の運用にあたっては、パイオニア社に運用の指図にかかる権限を委託しております。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引き続き、世界の事業会社が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。外貨建資産の運用にあたっては、パイオニア社に運用の指図にかかるとの権限を委託します。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	2 (1)
(その他)	(0)
合 計	2

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2016年6月10日から2017年6月9日まで)

		買付額	売付額
外 国	アメリカ	千アメリカ・ドル 1,523	千アメリカ・ドル 869 (—)
	イギリス	千イギリス・ポンド 2,189	千イギリス・ポンド 1,103 (—)
	スウェーデン	千スウェーデン・クローネ 10,109	千スウェーデン・クローネ — (—)
	ユーロ (オランダ)	千ユーロ 7,631	千ユーロ 5,838 (—)
	ユーロ (ルクセンブルグ)	千ユーロ 2,931	千ユーロ — (—)
	ユーロ (フランス)	千ユーロ 7,520	千ユーロ 3,950 (—)
	ユーロ (ドイツ)	千ユーロ 2,283	千ユーロ 3,067 (—)
	ユーロ (オーストリア)	千ユーロ 1,031	千ユーロ 191 (—)
	ユーロ (その他)	千ユーロ 1,282	千ユーロ 1,765 (—)
	ユーロ (ユーロ通貨計)	千ユーロ 22,681	千ユーロ 14,812 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) (—)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド

■主要な売買銘柄 公 社 債

(2016年6月10日から2017年6月9日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
Grand City Properties SA (ルクセンブルグ) 3.75% 永久債	352,691	Volkswagen International Finance NV (オランダ) 3.75% 永久債	373,911
Electricite de France SA (フランス) 5.375% 永久債	317,348	TOTAL SA (フランス) 2.625% 永久債	195,842
Vonovia Finance BV (オランダ) 4% 永久債	236,330	Bayer AG (ドイツ) 3.75% 2074/7/1	187,606
Volkswagen International Finance NV (オランダ) 5.125% 永久債	222,492	Telefonica Europe BV (オランダ) 7.625% 永久債	159,851
TOTAL SA (フランス) 3.875% 永久債	178,780	Electricite de France SA (フランス) 4.125% 永久債	146,943
Volkswagen International Finance NV (オランダ) 4.625% 永久債	152,842	Vonovia Finance BV (オランダ) 4.625% 2074/4/8	130,005
Gas Natural Fenosa Finance BV (オランダ) 4.125% 永久債	135,564	Telefonica Europe BV (オランダ) 6.75% 永久債	127,992
Telia Co AB (スウェーデン) 2.456% 2077/10/4	127,172	AMERICA MOVIL SA de CV (メキシコ) 6.375% 2073/9/6	109,389
NGG Finance PLC (イギリス) 4.25% 2076/6/18	126,322	Electricite de France SA (フランス) 5.25% 永久債	90,806
NGG Finance PLC (イギリス) 5.625% 2073/6/18	122,425	AMERICA MOVIL SA de CV (メキシコ) 5.125% 2073/9/6	79,985

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国(外貨建)公社債(通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期			組入比率	うちBB格以下組入率	残存期間別組入比率		
		評 価 額		組入比率			5年以上	2年以上	2年末満
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額						
アメリカ	千アメリカ・ドル 2,507	千アメリカ・ドル 2,873	千円 316,331	% 5.2	% —	% 5.2	% —	% —	
イギリス	千イギリス・ポンド 4,400	千イギリス・ポンド 4,940	692,389	11.4	—	11.4	—	—	
スウェーデン	千スウェーデン・クローネ 10,110	千スウェーデン・クローネ 10,241	129,038	2.1	—	2.1	—	—	
ユーロ (オランダ)	千ユーロ 8,890	千ユーロ 9,529	1,172,930	19.2	—	19.2	—	—	
ユーロ (ルクセンブルグ)	千ユーロ 2,900	千ユーロ 3,019	371,624	6.1	—	6.1	—	—	
ユーロ (フランス)	千ユーロ 12,805	千ユーロ 13,673	1,683,056	27.6	—	27.6	—	—	
ユーロ (ドイツ)	千ユーロ 5,593	千ユーロ 5,800	713,989	11.7	—	11.7	—	—	
ユーロ (オーストリア)	千ユーロ 2,308	千ユーロ 2,483	305,667	5.0	—	5.0	—	—	
ユーロ (その他)	千ユーロ 3,615	千ユーロ 4,053	498,900	8.2	—	8.2	—	—	
ユーロ (小計)	千ユーロ 36,111	千ユーロ 38,558	4,746,168	77.8	—	77.8	—	—	
合 計	—	—	5,883,927	96.5	—	96.5	—	—	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	当 期		末		償還年月日
				額 面 金 額	評 価 額			
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
アメリカ	Enel SpA	社債券	8.7500	千アメリカ・ドル 1,711	千アメリカ・ドル 2,033	千円 223,897	2073/09/24	
	EnBW Energie Baden-Wuerttemberg AG	社債券	5.1250	796	839	92,434	2077/04/05	
通貨小計	銘柄数 金 額	2銘柄		2,507	2,873	316,331		
イギリス	Enel SpA	社債券	7.7500	千イギリス・ポンド 1,058	千イギリス・ポンド 1,205	169,000	2075/09/10	
	Enel SpA	社債券	6.6250	449	500	70,101	2076/09/15	
	NGG Finance PLC	社債券	5.6250	1,280	1,449	203,100	2073/06/18	
	Orange SA	社債券	5.8750	438	486	68,214	永久債	
	Orange SA	社債券	5.7500	1,175	1,298	181,972	永久債	
通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄		4,400	4,940	692,389		
スウェーデン	Telia Co AB	社債券	2.4560	千スウェーデン・クローネ 10,110	千スウェーデン・クローネ 10,241	129,038	2077/10/04	
通貨小計	銘柄数 金 額	1銘柄		10,110	10,241	129,038		
ユーロ (オランダ)	Volkswagen International Finance NV	社債券	4.6250	千ユーロ 1,738	千ユーロ 1,867	229,908	永久債	
	Volkswagen International Finance NV	社債券	3.7500	2	2	258	永久債	
	Volkswagen International Finance NV	社債券	5.1250	1,700	1,892	233,003	永久債	
	Vonovia Finance BV	社債券	4.6250	1,400	1,485	182,887	2074/04/08	
	Vonovia Finance BV	社債券	4.0000	1,900	2,036	250,679	永久債	
	Gas Natural Fenosa Finance BV	社債券	4.1250	1,100	1,166	143,613	永久債	
	Iberdrola International BV	社債券	5.7500	500	519	63,922	永久債	
	TenneT Holding BV	社債券	2.9950	550	557	68,656	永久債	
	国小計	銘柄数 金 額	8銘柄		8,890	9,529	1,172,930	
ユーロ (ルクセンブルグ)	Grand City Properties SA	社債券	3.7500	千ユーロ 2,900	千ユーロ 3,019	371,624	永久債	
国小計	銘柄数 金 額	1銘柄		2,900	3,019	371,624		
ユーロ (フランス)	Electricite de France SA	社債券	4.1250	千ユーロ 1,800	千ユーロ 1,881	231,629	永久債	
	Electricite de France SA	社債券	5.3750	2,500	2,717	334,460	永久債	
	Engie	社債券	3.8750	1,800	1,943	239,273	永久債	
	TOTAL SA	社債券	2.2500	1,343	1,363	167,867	永久債	
	TOTAL SA	社債券	3.8750	1,432	1,551	190,916	永久債	
	Veolia Environnement SA	社債券	4.4500	1,500	1,547	190,454	永久債	
	Orange SA	社債券	4.2500	1,058	1,130	139,142	永久債	
	Orange SA	社債券	5.2500	400	453	55,848	永久債	
	Orange SA	社債券	5.0000	972	1,084	133,463	永久債	
	国小計	銘柄数 金 額	9銘柄		12,805	13,673	1,683,056	

ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド

区 分	当 期				未 評 価 額			償還年月日
	銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額			
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
ユーロ (ドイツ)	Bayer AG	社債券	3.0000	千ユーロ 400	千ユーロ 416	千円 51,298	2075/07/01	
	Bayer AG	社債券	2.3750	780	781	96,245	2075/04/02	
	Merck KGaA	社債券	2.6250	1,415	1,481	182,306	2074/12/12	
	Bertelsmann SE & Co KGaA	社債券	3.0000	1,500	1,549	190,715	2075/04/23	
	EnBW Energie Baden-Wuerttemberg AG	社債券	3.6250	1,498	1,571	193,423	2076/04/02	
	国小計	銘柄数 金 額	5銘柄		5,593	5,800	713,989	
ユーロ (オーストリア)	OMV AG	社債券	6.7500	千ユーロ 1,608	千ユーロ 1,696	208,836	永久債	
	OMV AG	社債券	5.2500	700	786	96,830	永久債	
国小計	銘柄数 金 額	2銘柄		2,308	2,483	305,667		
ユーロ (その他)	NGG Finance PLC	社債券	4.2500	千ユーロ 2,143	千ユーロ 2,313	284,826	2076/06/18	
	AMERICA MOVIL SA de CV	社債券	6.3750	1,472	1,739	214,074	2073/09/06	
国小計	銘柄数 金 額	2銘柄		3,615	4,053	498,900		
通貨小計	銘柄数 金 額	27銘柄		36,111	38,558	4,746,168		
合 計	銘柄数 金 額	35銘柄				5,883,927		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年6月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 5,883,927	% 96.5
コール・ローン等、その他	212,881	3.5
投資信託財産総額	6,096,809	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月9日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110.08円、1イギリス・ポンド＝140.15円、1スウェーデン・クローネ＝12.60円、1ユーロ＝123.09円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(6,005,673千円)の投資信託財産総額(6,096,809千円)に対する比率は、98.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年6月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,096,809,192円
コール・ローン等	107,267,537
公社債(評価額)	5,883,927,951
未収利息	90,631,508
前払費用	14,982,196
(B) 負債	144
その他未払費用	144
(C) 純資産総額(A-B)	6,096,809,048
元本	6,225,270,691
次期繰越損益金	△ 128,461,643
(D) 受益権総口数	6,225,270,691口
1万口当り基準価額(C/D)	9,794円

* 期首における元本額は5,126,703,305円、当期中における追加設定元本額は3,107,238,555円、同解約元本額は2,008,671,169円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)6,225,270,691円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,794円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は128,461,643円です。

■損益の状況

当期 自2016年6月10日 至2017年6月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	220,710,936円
受取利息	220,883,734
支払利息	△ 172,798
(B) 有価証券売買損益	210,810,566
売買益	325,763,319
売買損	△ 114,952,753
(C) その他費用	△ 876,278
(D) 当期損益金 (A + B + C)	430,645,224
(E) 前期繰越損益金	△ 455,539,481
(F) 解約差損益金	153,671,169
(G) 追加信託差損益金	△ 257,238,555
(H) 合計 (D + E + F + G)	△ 128,461,643
次期繰越損益金 (H)	△ 128,461,643

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。